

授業科目名(英文名)	都市基盤工学特論A (Advanced Urban Infrastructure Engineering A)				
担当者名	吉村 充功				
学年	1	学期	前期	必修選択	選択
教科書	なし				
目的または到達目標	社会経済活動の発達に伴い、交通現象も広域・広範に行われ、特性が多様化している。本科目では、これらの交通現象のメカニズムを理解し、社会基盤である交通インフラ整備計画などを適正に計画する手順の習得を目標とする。				
授 業 内 容	<p>【授業内容の概略】 交通現象のメカニズムを正確に説明することは、社会基盤である交通インフラの整備計画などを適正に計画する上で必要であり、昨今の社会情勢の変化による説明責任の高まりも相まって、より重要度が増している。本科目では、交通計画策定のために必要となる計量的な計画手法の基礎理論と適用方法を主に取り上げ、講義・演習を行う。</p> <p>【授業計画】</p> <p>第1回 ガイダンス、交通行動分析 交通行動分析の概要</p> <p>第2回 交通調査の方法論 調査の種類 調査法</p> <p>第3回 モデリング(1) データ分析手法 4段階推定法(1:生成交通量)</p> <p>第4回 モデリング(2) 4段階推定法(2:発生・集中交通量)</p> <p>第5回 モデリング(3) 4段階推定法(3:発生・集中交通量)</p> <p>第6回 モデリング(4) 4段階推定法(4:分布交通量)</p> <p>第7回 モデリング(5) 4段階推定法(5:分布交通量)</p> <p>第8回 モデリング(6) 4段階推定法(6:交通機関分担交通量) 非集計分析(1)</p> <p>第9回 モデリング(7) 4段階推定法(7:交通機関分担交通量) 非集計分析(2)</p> <p>第10回 モデリング(8) 4段階推定法(8:交通量配分)</p> <p>第11回 モデリング(9) 4段階推定法(9:交通量配分) 均衡配分(1)</p> <p>第12回 モデリング(10) 4段階推定法(10:交通量配分) 均衡配分(2)</p> <p>第13回 交通管理計画、交通需要マネジメント(1) 交通管理手法(TDM)</p> <p>第14回 交通管理計画、交通需要マネジメント(2) TDMの事例</p> <p>第15回 最近の交通政策の動向 大分県内の最新交通製作動向</p> <p>第16回 期末試験</p>				
	関連科目	都市基盤工学特論B			
受講心得	数学モデルなどが多く、また演習を含むため、出席するだけでは単位取得できません。				
課題・質問等の受付方法	質問はいつでも受け付けます。また、e-mail(yoshimuramt@nbu.ac.jp)、ユニバーサルパスポートでも受け付けます。				
授業の形式	講義と演習を組み合わせ実施します。 受講者数によっては、演習をパソコンを用いて実施します。				

履修上の注意または履修条件	なし
成績評価の方法	演習レポート(20点)及び期末試験(80点)により総合的に評価します。
参考文献及び指定図書	都市交通プロジェクトの評価 - 例題と演習(コロナ社) 森杉壽芳 他 編著 交通行動の分析とモデリング(技報堂出版) 北村隆一 他 編著